

宇宙で通用する品質は、地上でも最強だ

【宇宙品質】 システムズエンジニアリングを 活用した安全設計

複数の要求案件を見える化し、手戻りの少ない要求設計を構築する

2026年 9月 2日 水
9:30-17:00

会場 オンライン開催 (zoom)
カメラ・マイクをご用意ください。

実践セミナー
設計・開発者向け

開発・設計の現場では、営業、企画、製造、品質など、各部署からさまざまな要求が寄せられます。しかし、それらは目的や前提が異なり、曖昧だったり、互いに矛盾していることも少なくありません。結果として、手戻りや仕様変更が繰り返されることが多くあります。

システムズエンジニアリングは、各部署の要求をそのまま受け取るのではなく、**背景や狙いを整理し、全体視点で構造化する考え方**です。

本セミナーでは、ばらばらな要求を整理し、関係者が納得できる形で開発・設計を前に進めるための実践的な進め方を学びます。

こんな方にオススメ

- 企画・設計開発、品質保証、技術・製造などものづくりのプロセスに携わる方
- 各部署からの要求に振り回されている開発・設計者
- 要求の曖昧さや後戻りに課題を感じている方
- 部門横断の調整を、もっと論理的に進めたい方
- 全体視点で設計・開発を進めたい方

本セミナーで得られること

- 各部署の要求を「整理できる要求」に変える考え方
- 部分最適に陥らず、全体で判断する設計・調整の視点
- 複雑な開発プロジェクトを前に進める実践的な手法

ーカリキュラムー

1. システムズエンジニアリングの基礎
2. 【ワーク1】
システムズエンジニアリングによる要求導出
3. 【ワーク2】
FTAによる要求導出
4. 【ワーク3】
技術者要求記述のコツ

参加費

44,000円 (会員) / 49,500円 (一般) 税込み

問合せ先

一般財団法人
日本科学技術連盟 大阪事務所

お申込みフォーム

右のQRコードにアクセスいただき、
JUSEセミナーサイトからキーワード検索してお申込みください。

TEL : 06-6341-4627

MAIL : juseosaka@juse.or.jp

宇宙品質



なぜアポロ計画は成功したのか —システムズエンジニアリングの原点—

Apollo program - 1961~1972 -

1960年代、アポロ計画は「人類を月に送り、無事に帰還させる」という、失敗が一切許されない挑戦でした。一つの判断ミスが人命に直結し、後戻りはできません。

しかも、ロケット、宇宙船、通信、誘導、運用など無数の要素と、数十万人規模の関係者が関わる、極めて巨大で複雑なプロジェクトでした。

NASAが直面した課題は、「部分はうまくいっているのに、全体としてはうまく進まない」状態をいかに防ぐか、ということでした。

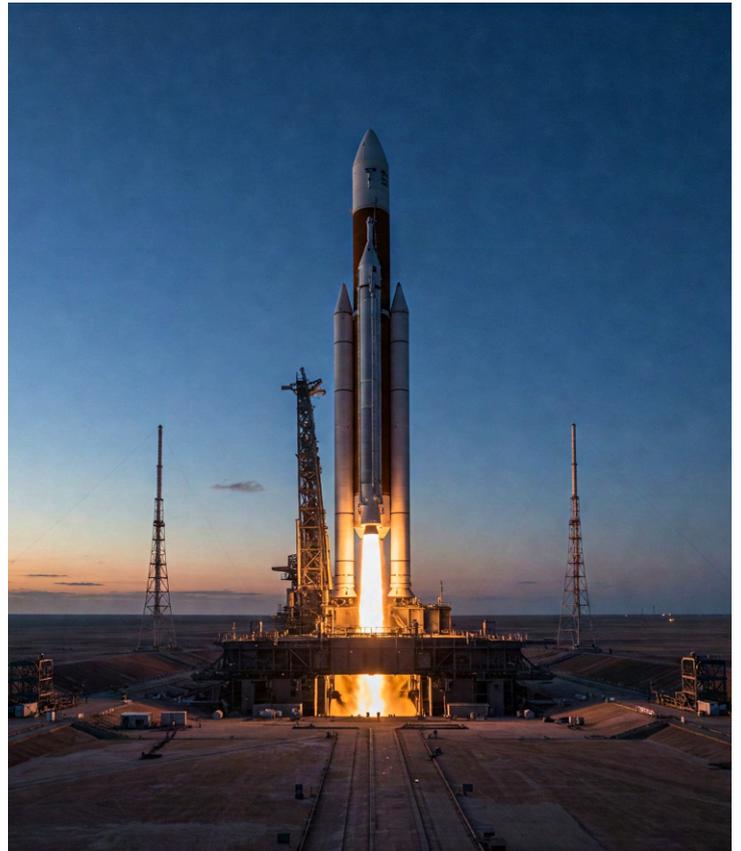
そこで採られたのが、全体を一つの“システム”として捉え、目的・役割・関係性を最初に整理し、段階的に検証しながら進める考え方です。

問題は早期に見つけ、小さいうちに対処する。

この徹底が、致命的な失敗を防ぎ、史上最大級のプロジェクトを成功へ導きました。

この経験から体系化されたのが、システムズエンジニアリングです。

本セミナーでは、この「システムズエンジニアリング」の考え方について、部門や専門が異なる人たちをどう束ね、複雑なプロジェクトを失敗させずに前へ進めるのかを、実務に応用できる形で理解していきます。



なぜ今、システムズエンジニアリングが必要なのか

プロジェクトは年々、部門横断・高度化・複雑化しています。
部分最適や個人の経験だけでは限界があり、人・技術・組織を含めて全体を設計し、失敗を未然に防ぎながら前進させる考え方が、今あらためて求められています。

システムエンジニア(SE)とは違う

システム
エンジニア

コンピューターシステムの
情報処理技術者



システムズ
エンジニアリング

分野を問わず“システム全体”を
体系的に設計していく
手法・考え方

【宇宙品質】システムズエンジニアリングのセミナーは裏面をご覧ください。